

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

南越前町長 岩倉 光弘

市町村名 (市町村コード)	南越前町 (18404)	
地域名 (地域内農業集落名)	湯尾 (湯尾)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年8月27日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・若い方などの農業離れ、後継者の不在
- ・獣害(イノシシ、シカ、サル)対策、地元の協力が無い。
- ・用水の取入れが悪い。用水の道中が細い。結果、水が行き渡らず水がない耕作放棄地が増えている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・認定農業者等の担い手による水稲、そば等を中心とした作付けが行われており、引き続き耕作していく。今後は、規模拡大可能な担い手への集積集約化に取り組んでいく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	80.4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農用地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
規模拡大可能な担い手に集積集約していく。 条件が合い実現可能な場合は、担い手や集落営農間、公社で集約の協議をする。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構への貸し付けを進めていく。
(3)基盤整備事業への取組方針
担い手や地域のニーズを踏まえ、進めていく。 特に日野川からの用水の取入口が高いため水の取入れが悪い。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
農業経営を継承していけるよう、関係機関と連携し農業技術などの維持を目標に農業者育成に取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
効率化が期待できる作業委託を進めていく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

<p>【選択した上記の取組方針】</p>
